

令和5年度 富士タカオカライオンズ杯争奪 第41回 全日本少年軟式野球静岡大会・富士地区予選

主催 富士野球連盟 後援 富士タカオカライオンズクラブ

～ 大会要項 ～

- 1 期 日 令和5年 2月17日(土) 1回戦 (キウイ球場A・B)
2月23日(金) 2回戦 (キウイ球場A)
3月2日(土) 準決勝 (キウイ球場A)
3月3日(日) 準決・3決 (キウイ球場A)
2月18日(日) 予備日 (キウイ球場A・B)
2月24日(土) 予備日 (キウイ球場A)
2月25日(日) 予備日 (キウイ球場A)
3月9日(土) 予備日 (キウイ球場A)
3月10日(日) 予備日 (キウイ球場A)
- 日程がずれこんだ場合、
球場が変更になる場合がある。
- 2 試合方法 ・富士市内の中学校、富士川第一・富士南・富士川第二中学校、吉原第一・田子浦中学校、鷹岡・岩松中学校、吉原北・大淵中学校は合同チームとして参加し、しんきんカップに出場する優勝・準優勝校をスーパーシードとし、3位・4位校をシードとする。
〔①岳陽中 ②吉原第三・東中 ③吉原北・大淵中 ④吉原一・田子浦中〕
・全日本軟式野球連盟の規則に則って試合を行う。
- (1) イニング 試合は7回戦(7イニング)とする。また、5回をもって完全に試合が成立したことにする。
- (2) 延長 8回より特別ルールによる継続試合(継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、二塁走者)を行う。無死1、2塁の状態にして行い、勝敗が決まるまで継続試合を行う。
- (3) コールド 点差によるコールドは、全ての試合において5回以降7点差とする。
降雨、日没、突発的な事故の場合も5回以降とする。
- (4) 投球制限 大会中1日の投球数を100球、1週間の投球数を350球とする。
(試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。)
- (5) 試合球 公認M号球を使用する。(連盟よりボールが用意される。)
- (6) 選手登録 選手登録の人数は特に定めないが、ベンチ入りする選手は必ず登録し、背番号を付ける。
主将は10番、監督は30番、コーチは29・28番を付ける。
- (7) ベンチ トーナメント表の左側の番号のチームが一塁側ベンチを使用する。
ベンチ入場者は登録選手の他、監督、コーチ、記録係及び代表者とする。
- (8) メンバー 第1試合は試合開始30分前にメンバー表を提出(監督・主将同伴)し、登録用紙との照合を受けた後、球審の立ち会いのもとに攻守を決定する。第2試合以降は、前試合の4回終了時に行う。試合開始予定時間の1時間前には球場に到着し、到着したことを本部に連絡する。
(メンバー交換用紙は4部用意する)
- 3 その他 ・各チームは責任教員が引率し、大会中の全ての行動に責任を負う。
・投球練習を受ける捕手(ブルペン捕手も含む)はレガース・プロテクター・マスク・フェールカップを必ず着用する。(座ったらマスクを着用する。)
・ベンチのメガホンの持ち込みは1個とし、監督のみ使用できる。
・攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者・次打者・ベースコーチはベンチ前のミーティングに参加せず、直ちに所定の位置に着く。
・シートノックは5分間とする。
・BSO、得点板、球数は保護者に協力をお願いします。
※球数は各チームの保護者1名ずつ、計2名で行う。
・この大会の優勝校は、県大会に出場することができる。
・この大会の優勝、準優勝、3位、4位校は、富士ニュース杯のシード校とする。
・今大会における審判料は不要。また、連盟より塁審も派遣される。
- 4 大会事務局 連絡先 富士野球連盟 事務局 井上 健 : 090-7031-3231 ※試合実施の第一判断は
岳陽中学校 勝又 陽一 : 090-4214-7546 6:00に行う。